

# IAATOアザラシ/アシカ ウォッチングガイドライン



## 陸上および氷上でのアザラシ/アシカ鑑賞の一般的なルール:

- アザラシ/アシカを見るときは、取り囲んだり、分け入ったりしてはなりません。特に母親と子供には注意してください。彼らが見える場所に留まってください。
- 海岸では、アザラシ/アシカと海の間は避け、沖側を歩いてください。
- 海岸のアザラシ/アシカからの最低推奨距離は5~15メートルです。一部の種、または行動によっては、さらに距離を保つ必要があります(以下をご確認ください)。

## アザラシ/アシカの行動について理解する

陸、岩、または氷上に上がったアザラシ/アシカはボートや人の気配に敏感です。音、匂い、視界に入るものに反応します。

アザラシ/アシカが困惑していることを示す行動を把握しておきましょう。以下の行動をはじめとした様々な行動が挙げられます。

- 注意や警戒の高まり 頭を回転させる
- 横たわっている状態から直立の姿勢に変わる
- 近づいてくる船舶から急いで離れる
- 口を開いて威嚇する(例:氷上のヒョウアザラシまたは陸上のゾウアザラシ)
- 攻撃的に威嚇する、またはあなたの方へ突進してくる

## 陸や氷上のアザラシ/アシカを見るとき

- 水からあがったアザラシ/アシカの視界を遮ったり、上からのぞき込もうとしないでください。体勢を低くしてください。母親が摂食する際、子供たちが放置されることがよくあります。子供たちは見捨てられたわけではありません。そのままにして、触れないでください。
- 顔をあげることを除いて、アザラシ/アシカが何らかの反応をした場合は避けてください。
- 一匹または群れが海に向かって来たり、多数のアザラシ/アシカが急いで海に向かって来たりした場合は、ゆっくりと慎重に後ろに下がらなければなりません。陸上のオットセイやアシカは非常に機敏に動くことができ、近づきすぎると突進してくる可能性があるため注意してください（噛む可能性もあります）。このため、少なくとも15メートルは距離を取ってください。
- 草むらの動物には注意してください。フィールドガイドは杖または杖と同等のものを持ち運ぶことが理想的です。
- 争っている雄のゾウアザラシからは最低25メートルの距離をとってください。
- ゾウアザラシの子供（離乳したばかりの子供）は好奇心が強く、乗客に近づいてくることがあります。交流においては、必ず離乳したばかりの子供に主導権を持たせることが重要です。

